

加賀鳶消防出初め式

毎年 1 月に、1,000 人以上もの地元の消防士たちが、加賀鳶消防出初め式のために、金沢城に集合する。

消防士たちはチームになって、高い梯子の頂上に腰かけて演じるアクロバティックな離れ業、「出初め式」を披露する。寒い石川県であるにも関わらず、消防士たちは、薄手の伝統的な服を着て演じる。なかには、まわし以外は何も身に着けない状態で、消防ホースで水を浴びせられる者もいる。

出初め式は、国内に見られる、江戸時代から始まった伝統行事だ。当時、高い梯子の上に乗った一人の消防団員が誘導のため、地面にいる他の消防団員に大声で指示していた。金箔で覆われた「まとい」をお見逃しなく。これは江戸時代の旗で、火災が起きた建物の屋根の上で掲げられ、消火活動の人々に知らせていた。各チームは、各自のデザインのまといを持つ。